

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	岡林春雄	所属	徳島文理大学
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会ダイナミカルシステム研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 12 名（うち認定心理士 0 名） 非会員 9 名（うち認定心理士 0 名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p><実施内容> 日本心理学会第 83 回大会（於 立命館大学いばらきキャンパス）において、「会話での生体信号リズムから『こころ』を考える——身体化とダイナミカルシステム アプローチ」と題してシンポジウムを行った。 学部生から古手の研究者、さらには企業の開発部の人まで、いろいろな層の人が参加してくれ、活発な意見交換がなされた。</p> <p><成果> 生体信号の「ゆらぎ」は、誤差ではなく、最大リアプノフ指数または、アトラクタで表されるように、生きているもののエネルギーである。認知症の患者などでは、ゆらぎが極端に少なくなっている。二者間の意思の疎通性と生体信号の同期現象は相関があるのではないか。 会話中の二者間のこころの動きは、蔵本モデル（Kuramoto model）で表現できるのではないか——講師によるシミュレーションが行われた。 Bio-Psycho-Social モデルから会話中の生体信号同期現象（意思の疎通性、“わかる”といった感覚）をとらえる必要が提起された。</p> <p><将来計画> 生体信号は非線形データなので、相関を出すにあたって非線形相関を考えなければならない。MIC の信頼性も確認する必要がある。 リズム研究の分野とはさらにやり取りを行っていきたい。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人日本心理学会ダイナミカルシステム研究会				
研究集会開催日： 2019年9月12日(木)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	吉田翔悟	桜美林大学	○	
2	柴山笑凜	桜美林大学	○	
3	吉岡利菜	徳島文理大学		
4	大松瑞季	徳島文理大学		
5	中村美緒	徳島文理大学		
6	西村真由	徳島文理大学		
7	串崎真志	関西大学	○	
8	落合龍史	花王(株)		
9	清水一毅	帝京学園短期大学	○	
10	山本知里	京都大学	○	
11	宮谷愛百合	桜美林大学	○	
12	大島麻衣	富山大学	○	
13	野田満	江戸川大学	○	
14	藤井千穂	徳島文理大学	○	
15	木下梓	徳島文理大学		
16	黒田龍之介	徳島文理大学		
17	藤本大樹	徳島文理大学		
18	丹羽時彦	関西学院大学高等部		
19	鈴木平	桜美林大学	○	
20	岡林春雄	徳島文理大学	○	
21	千野直仁	愛知学院大学	○	
22				
23				
24				

(様式5)

2019年12月17日

日本心理学会研究会 2019年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会ダイナミカルシステム研究会

研究会番号 研 19003

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2019年9月12日	講師謝礼金 (非会員 丹羽時彦氏へ)	¥30,000

支出合計 ¥30,000